

「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者」集計表
～【看護師候補者 受入施設 回答】～

問1 貴施設は以下のどれに当たりますか。

	回答数	(受入機関数) 構成比
(1) 病院	31	100.0%
(2) 特別養護老人ホーム	0	0.0%
(3) 老人保健施設	0	0.0%
(4) 障害者施設	0	0.0%
(5) その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	31	100.0%

問2 受け入れていらっしゃる候補者は、以下のどれにあたりますか。

	回答数	(候補者数) 構成比
(1) 第一陣 (平成21年来日) フィリピン人看護師候補者	4	3.3%
(2) 第一陣 (平成21年来日) フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(3) 第二陣 (平成21年来日) インドネシア人看護師候補者	17	14.0%
(4) 第二陣 (平成21年来日) インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(5) 第二陣 (平成22年来日) フィリピン人看護師候補者	5	4.1%
(6) 第二陣 (平成22年来日) フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(7) 第三陣 (平成22年来日) インドネシア人看護師候補者	15	12.4%
(8) 第三陣 (平成22年来日) インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(9) 第三陣 (平成23年来日) フィリピン人看護師候補者	22	18.2%
(10) 第三陣 (平成23年来日) フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(11) 第四陣 (平成23年来日) インドネシア人看護師候補者	18	14.9%
(12) 第四陣 (平成23年来日) インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(13) 第四陣 (平成24年来日) フィリピン人看護師候補者	5	4.1%
(14) 第四陣 (平成24年来日) フィリピン人介護福祉士候補者	0	0.0%
(15) 第五陣 (平成24年来日) インドネシア人看護師候補者	14	11.6%
(16) 第五陣 (平成24年来日) インドネシア人介護福祉士候補者	0	0.0%
(17) EPA看護師	8	6.6%
(18) EPA介護福祉士	0	0.0%
(19) その他 (准看護師など)	8	6.6%
無回答	5	4.1%
計	121	100.0%

問3 その中で、既に帰国した候補者がいる場合はご記入ください。

	回答数	(受入機関数) 構成比
(1) 既に帰国した候補者がいる	17	54.8%
(2) 帰国した候補者はいない→ 問6へ	14	45.2%
無回答	0	0.0%
計	31	100.0%

	回答数	(候補者数) 構成比
(1) 既に帰国した候補者	35	28.9%
(2) 就労中の候補者	86	71.1%
無回答	0	0.0%
計	121	100.0%

既に帰国した候補者

	回答数	(候補者数) 構成比
(1) 第一陣 (平成21年来日) フィリピン人看護師候補者	3	8.6%
(3) 第二陣 (平成21年来日) インドネシア人看護師候補者	15	42.9%
(5) 第二陣 (平成22年来日) フィリピン人看護師候補者	1	2.9%
(7) 第三陣 (平成22年来日) インドネシア人看護師候補者	7	20.0%
(9) 第三陣 (平成23年来日) フィリピン人看護師候補者	1	2.9%
(11) 第四陣 (平成23年来日) インドネシア人看護師候補者	1	2.9%
(13) 第四陣 (平成24年来日) フィリピン人看護師候補者	0	0.0%
(15) 第五陣 (平成24年来日) インドネシア人看護師候補者	0	0.0%
(17) EPA看護師	1	2.9%
(19) その他 (准看護師など)	1	2.9%
無回答	5	14.3%
計	35	100.0%

問4 帰国についての申し出はどちらからありましたか。

	回答数	(受入機関数) 構成比
(1) 候補者	12	70.6%
(2) 受入れ病院・施設	0	0.0%
(3) 双方	5	29.4%
無回答	0	0.0%
計	17	100.0%

問5 帰国した候補者の帰国理由をいくつかでもお選びください。(複数回答)

	回答数	構成比
(1) 本人の健康上の理由	0	0.0%
(2) 家族に関する理由	8	29.6%
(3) 日本の生活になじめなかったため	1	3.7%
(4) 職場環境になじめなかったため	0	0.0%
(5) 収入や待遇が期待と違っていたため	0	0.0%
(6) 仕事の内容が期待と違っていたため	0	0.0%
(7) 国家試験に合格できないと判断したため	5	18.5%
(8) EPA期間満了	7	25.9%
(9) その他	6	22.2%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%

- ・モチベーションの低下
- ・法律違反があったため
- ・原発事故に対して家族より帰国希望があった為
- ・結婚、妊娠
- ・年齢的に出産希望のため

などの理由があげられました。

問6-1 候補者の受入理由:国際親善

	回答数	構成比
(1) あてはまる	18	58.1%
(2) どちらかといえばあてはまる	5	16.1%
(3) どちらともいえない	3	9.7%
(4) どちらかといえばあてはまらない	2	6.5%
(5) あてはまらない	1	3.2%
無回答	2	6.5%
計	31	100.0%

問6-2 候補者の受入理由:人材確保

	回答数	構成比
(1) あてはまる	5	16.1%
(2) どちらかといえばあてはまる	12	38.7%
(3) どちらともいえない	6	19.4%
(4) どちらかといえばあてはまらない	0	0.0%
(5) あてはまらない	5	16.1%
無回答	3	9.7%
計	31	100.0%

問6-3 候補者の受入理由:将来の人材育成

	回答数	構成比
(1) あてはまる	6	19.4%
(2) どちらかといえばあてはまる	11	35.5%
(3) どちらともいえない	5	16.1%
(4) どちらかといえばあてはまらない	1	3.2%
(5) あてはまらない	4	12.9%
無回答	4	12.9%
計	31	100.0%

問6-4 候補者の受入理由:国際事業展開準備

	回答数	構成比
(1) あてはまる	3	9.7%
(2) どちらかといえばあてはまる	3	9.7%
(3) どちらともいえない	8	25.8%
(4) どちらかといえばあてはまらない	1	3.2%
(5) あてはまらない	8	25.8%
無回答	8	25.8%
計	31	100.0%

問7-1 満足度:国際親善

	回答数	構成比
(1) 満足	8	25.8%
(2) どちらかといえば満足	12	38.7%
(3) どちらともいえない	7	22.6%
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%
(5) 不満	0	0.0%
(6) もともと期待していない	2	6.5%
無回答	2	6.5%
計	31	100.0%

問7-2 満足度:人材確保

	回答数	構成比
(1) 満足	5	16.1%
(2) どちらかといえば満足	8	25.8%
(3) どちらともいえない	10	32.3%
(4) どちらかといえば不満	2	6.5%
(5) 不満	0	0.0%
(6) もともと期待していない	5	16.1%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

問7-3 満足度:将来の人材育成

	回答数	構成比
(1) 満足	2	6.5%
(2) どちらかといえば満足	10	32.3%
(3) どちらともいえない	10	32.3%
(4) どちらかといえば不満	2	6.5%
(5) 不満	0	0.0%
(6) もともと期待していない	4	12.9%
無回答	3	9.7%
計	31	100.0%

問7-4 満足度:国際事業展開準備

	回答数	構成比
(1) 満足	0	0.0%
(2) どちらかといえば満足	3	9.7%
(3) どちらともいえない	11	35.5%
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%
(5) 不満	0	0.0%
(6) もともと期待していない	11	35.5%
無回答	6	19.4%
計	31	100.0%

問8 候補者の現在の日本語能力は、以下のどれに当たりますか。(複数回答) ※帰国者、合格者除く

	回答数	構成比
(1) 国家試験受験に十分な日本語能力がある	18	13.1%
(2) 業務に差し支えない日本語能力がある	41	29.9%
(3) 記録作成に必要な読み書きができる	18	13.1%
(4) 会話は問題ないが、読み書きには不安がある	35	25.5%
(5) 会話は不十分ではあるが、意思疎通は可能である	22	16.1%
(6) 日本語によるコミュニケーションが困難である	2	1.5%
無回答	1	0.7%
計	137	100.0%

**問9 看護師候補者受入れご担当の方にお聞きします。候補者を選ぶ基準は何ですか。
(複数回答者あり)**

	回答数	構成比
(1) 高い日本語能力 (日本語能力試験N2以上)	13	34.2%
(2) 人柄、性格	19	50.0%
(3) その他	5	13.2%
無回答	1	2.6%
計	38	100.0%

- ・JICWELSから提供される資料
- ・看護大学
- ・医学、看護学知識
- ・病院での勤務経験、年齢
- ・大卒。特に女性。

などの理由があげられました。

問11 看護師候補者受入れご担当の方にお聞きします。候補者が看護師国家試験に合格をした場合、引き続き看護師として就労をしてもらうことを望まれますか。(複数回答者あり)

	回答数	構成比
(1) 日本に定住をし、看護師としてのキャリアを伸ばしてほしい	12	36.4%
(2) <u>本人が望むのであれば</u> 、今後も看護師として務めてほしい	21	63.6%
(3) 看護師として務めてほしいと思うが、引き続き就労してもらうのは難しい →問12へ	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	33	100.0%

問12 問11にて引き続き就労してもらうのは難しいとお答えになられた方にお聞きします。就労させることが難しい理由をお聞かせください。(自由記述)

	回答数	構成比
(1) 記述有	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	0	0.0%

**問15 看護師候補者受入れご担当の方にお聞きします。看護師候補者が日本滞在最終年の国家試験を受験する際、准看護師試験も同時に受験させたいと思いますか。
(EPA終了後に医療就労ビザに変更をし、准看護師としての研修期間が与えられます。その研修期間に再度国家試験合格を目指します。)(複数回答者あり)**

	回答数	構成比
(1) ぜひ、准看護師試験を受験させたい	12	37.5%
(2) 候補者が受験をしたいと希望をしていれば受験をさせたい	15	46.9%
(3) 受験をさせることに反対。→問16へ	5	15.6%
無回答	0	0.0%
計	32	100.0%

問16 問15にて反対とお答えになられた方にお聞きします。反対される理由をお聞かせください。(自由記述)

(1)	記述有	4	80.0%
	無回答	1	20.0%
	計	5	100.0%

・目的が違う

・①ライセンスを取得しても日本語能力(書く事)に問題があり准看護師としても十分に働けない②国家試験合格目標意欲の邪魔になる

・本来看護師の資格取得のために来日している訳ですから、ゆるくすれば危機感がなくなりだらけてしまうのではないのでしょうか。准看護師の資格を取得してもすぐに業務につけず勉強(国試)との両立がむずかしい。

・准看護師では当院にとって受入れる意義がないため。

などの理由があげられました。

問17 今後、外国人看護師、介護福祉士が日本国内にて活躍していくことをどう思われますか。(複数回答者あり)

	回答数	構成比
(1) EPA協定に基づき来日した場合は受入に協力していきたい	19	50.0%
(2) EPA協定外でも、受け入れることが可能であれば海外から積極的に外国人を受け入れていきたい	7	18.4%
(3) 在留資格のある在日外国人を看護師・介護職として受け入れたい	9	23.7%
(4) 外国人が医療・介護業界に進出することは賛成できない	0	0.0%
無回答	3	7.9%
計	38	100.0%

問18 総合的にみて、EPA候補者を受け入れたことに満足していますか。

	回答数	構成比
(1) 満足	5	16.1%
(2) どちらかといえば満足	12	38.7%
(3) どちらともいえない	9	29.0%
(4) どちらかといえば不満	4	12.9%
(5) 不満	0	0.0%
無回答	1	3.2%
計	31	100.0%

問19 インドネシア現地の財団BIMAの事前教育についてご存知ですか。

	回答数	構成比
(1) 知っている(大変興味があるまたはすでに見学をしたことがある)	14	45.2%
(2) 知っているが、特に興味はない	14	45.2%
(3) EPA応募前の事前教育の必要性を感じない	0	0.0%
無回答	3	9.7%
計	31	100.0%

問20 その他 ご自由にご意見をお書きください。

(1) 記述有
無回答
計

回答数	構成比
6	19.4%
25	80.6%
31	100.0%

自由記述

(一部抜粋)

施設自由記述の傾向・・・自由記述に多かったコメント

- ① 制度の見直し、国への要望や意見
- ② 研修責任者、担当者の悩み
- ③ 候補者の意識、就労前人選について
- ④ 就労前、日本語教育についての要望
- ⑤ 外国人看護師・介護福祉士候補者を受入れてみて、現状と課題、改善点

① 制度の見直し、国への要望や意見

● 准看護師試験が看護師試験と同一日に行なわれる傾向があり困る。(第二陣、第三陣、第四陣フィリピン人受入機関様)

● 不合格者を帰国させない仕組みや制度(第一陣フィリピン人、第二陣、第四陣、第五陣インドネシア人受入機関様)

● 来日してから1回目までのテスト期間までが短すぎる。元々日本語を習得せず、半年～1年学習しても、日本語力はほとんどないし、11～12月頃職場に配置され、仕事を覚えるのと勉強の両立ができないまま最初のテストを受け結果が悪く、候補者達はすごく落ち込む。(第一陣、第三陣、第四陣フィリピン人、第四陣、第五陣インドネシア人受入機関様)

② 研修責任者、担当者の悩み

● 受け入れ施設によって候補生を受け入れる体制が違いすぎて、候補生の不満が多すぎる。その説明を候補生に行うが毎年不平、不満が多い。受け入れ側の施設に一定の条件をつくってほしい(当院は1人の労働者として候補生を受け入れているので特別扱いできない)(第一陣、第三陣、第四陣フィリピン人、第四陣、第五陣インドネシア人受入機関様)

③ 候補者の意識、就労前人選について

● 送り出す側も、その候補者が本当に日本でNS資格を取得して将来に敬って就労する気のある方かを見極めて送り出してほしい。仕送りが前提の方は少し勉強に真剣さが足りないように感じます。(第四陣フィリピン人受入機関様)

④ 就労前、日本語教育についての要望

● 受入れた候補者の日本語レベルがバラバラであり、実際に現場で教育する時に困ることが多かった。一定の日本語レベルを身につけてから入国していただければ、それだけでも受け入れ施設側の負担が少なくてすむ。(第三陣フィリピン人受入機関様)

⑤ 外国人看護師・介護福祉士候補者を受入れてみて、現状と課題、改善点

● 看護師国家試験の合格率を上げるために日本語能力を上げる必要がある。3年間の受験学時は独自でも学習が出来る位の日本語能力が必要である。又、働きながらの学習時間確保である為、限られた時間の中で専門分野の学習にのみ集中できるよう準備されるのが理想かと思えます。(第三陣、第五陣インドネシア人受入機関様)